

お金の心配のない 介護や教育を

ためこんだ区の基金総額は約969億円

「利用料が高くて介護をあきらめた」「回数を減らした」こんな声は少なくありません。しかし、介護は医療と同様にお金がなければ受けなくていいものではありません。そもそも、毎月高い保険料を払っていても、介護が必要と認められなければ、利用すらできません。



- 介護の利用料と保険料をもっと軽減しましょう
- 介護や保育など福祉職場で働く労働者の賃金底上げを!

同時に、コロナ禍も重なって、経済的な理由で進学をあきらめる青年が増えています。子どもたちや若者が、学びたいと思った時に、安心して選択できる支援の強化が必要です。

- 高校の通学費・塾代への助成制度を
- 大学や専門学校の学費への支援を

少人数学級への願い 逆行許さない

板橋区教育委員会は、2012年に「小学校20～30人、中学校30～35人」が望ましい学校規模と方針を決定。しかし、進める姿勢はありません。私は「学校の統廃合を行っている場合ではなく、望ましい学級規模の実現目指して具体化すべきだ」と求めてきました。

いま、教育委員会が、望ましい学級人数を曖昧にし、後退させようと検討し始めたことは、とんでもありません。



「不登校は家庭の問題」とする教育委員会に、改善を求め続け、「当事者へのアンケート」や「受験対策の説明会や個別相談会」などが実現しました。当事者への調査では、「勉強がわからなくなった」「ともだちとの関係」が高い結果です。

不登校を経験した子どもたちは、トラブルや悩みがあっても「先生に相談しづらかった」と話します。ひとりの先生がみる子どもの人数が多いことが、大きな課題です。ひとりひとりにゆきとどいた教育を保障するため、さらなる大きな運動を広げましょう!



- 小中学校の全学年に30人学級を
- 教職員の増配置で、負担軽減こそ



高小周辺のグリーンプラットの塗りなおし
※道路のサインアート

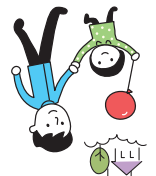
住民の声にこたえて実現!!



西台駅前 公衆トイレの洋式設置

旧高七小跡地は、URの建替え用地として、「2025年に着工」ということだけを区とURで決めていました。住民の「介護施設がほしい」「音楽ホールがほしい」「集会所を増やして」といった声はどう反映されるのか全く見えません。私は、URとの協議状況の公開と住民参加の仕組みづくりを求め続けてきました。現在、町会・自治会が参加した「連絡会」が始まっていきます。もっともっと住民参加を進めることを求めていきます。

高島平のまちづくりは「住民参加で」



日本共産党 板橋区議会議員

いよいよ桐子 区政報告

わいわい通信 2022・2023冬号

2023年4月から23区で

18歳まで

所得制限なし

医療費無料化が

実現

日本共産党区議団は「所得制限なし」を一貫して提案してきました。

ご意見・ご要望をお寄せください



- 主な活動地域
高島平1～9丁目(2丁目除く)、新河岸1～3丁目、四葉1～2丁目、蓮根3丁目
- 事務所
高島平7-20-17-102
TEL 6904-0448
- 日本共産党 板橋区議団控室
TEL 3579-2717

現在、区の避難所は、ネット「同行避難」として、ネットだけの居場所を確保しているものの、家族である飼い主として、ペットを過ごすことはできません。避難所となる学校の教室も活用して、いかに避難生活を送れるよう求めていきます。

ペットと過ごせる避難所へ

区の防災計画に「避難行動要支援者の個別避難計画を策定する」と書かれているものの検討も行ってこなかったことを指摘したために計画づくりに着手することを求め続けてきました。ようやく、今年度、計画づくりに予算が盛り込まれ、当面、新河岸・舟渡地域の要支援者の個別避難計画づくりの検討が始まっています。しかし、対象者が少ないことや進めるスピードが課題です。エリアを定めず、必要な人の避難計画を目標を定めて進めるよう引き続き取り組みます。

「個別避難計画」の検討が始まる ひとりで避難がむずかしい要支援者の

河川による水害時の緊急避難場所の確保が課題でした。とりわけ、荒川と新河岸川に挟まれた新河岸・舟渡地域は、学校さえも水没の可能性があり、公の高い場所は都営住宅などに限られます。私は、都議会議員とも連携して、都営新河岸団地の建替えにあたって、高層階に防災倉庫や集会所などの緊急避難できる場所の確保を要請し、区からも都営住宅の活用を求めよう質問してきました。今年、都が災害時の都営住宅の空き部屋活用を明確にし、一歩前進しました。また、緊急避難場所として舟渡の物添センターと区の協定も進んでいます。

水害時の避難場所確保

「公助」を全面に「一歩前進 災害対策が

Webサイトをご覧ください
いよいよ桐子の素顔がわかる

＜常任委員会＞文教児童委員会(副委員長) ●＜特別委員会＞災害対策調査特別委員会
●現在、区議4期目。埼玉県高島市出身。順天高等学校卒業。城北信用組合(理事委員)
●現在、区議4期目。埼玉県高島市出身。順天高等学校卒業。城北信用組合、中央合唱団、たんぼ福祉訓練事業所に勤務。高3・高1の子育て中。現在、高島平3丁目自治会中央役員。趣味は、ウタコト、アウトドア、韓国ドラマ、食べること



区政を動かす日本共産党「中」のべーじ

OPEN